

# Safety Data Sheet

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	白アリスーパー21 低臭性 各色
種類	木材防腐・防蟻剤
主な用途	木部用
会社名	株式会社 吉田製油所
郵便番号&住所	〒110-0005 東京都台東区上野3-22-8 新ジイドビル
担当部門	川崎工場 品質管理部
担当者	品質管理部長
電話	044-288-5522 (月~金, 9:00a.m.-5:00p.m.)
Fax	044-277-7721
作成日	2001年2月21日 2010年10月1日 2015年5月15日 2016年5月10日
Web Address	<a href="http://www.ysds.co.jp/">http://www.ysds.co.jp/</a>

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

引火性液体	区分4
吸引性呼吸器有害性	区分1
水生環境有害性 (急性)	区分2
水生環境有害性 (長期間)	区分2

#### GHS ラベル要素

注意喚起語	危険
GHS シンボル	

#### 危険有害性情報

H227	可燃性液体
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H401	水生生物に毒性
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性

#### 安全対策の注意書き

P210	熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
P235	涼しいところに置くこと。
P273	環境への放出を避けること。
P280	保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

#### 応急処置の注意書き

P301+P310	飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
P331	無理に吐かせないこと。
P307+P378	火災の場合、消化するために、炭酸ガス、耐アルコール性の泡、粉末を使用すること。
P391	漏出物を回収すること。

**保管（貯蔵）の注意書き**

P405	施錠して保管すること。
P403+P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

**廃棄の注意書き**

P501	内容物又は容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

以下の注意事項に関しては GHS 分類結果より、GHS ラベル要素は非該当であるが、取扱い時には注意すること

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P263	妊娠中、授乳期中は接触を避けること。
P264	取扱い後は、手や顔をよく洗うこと。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P305+P351+P338	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P314	気分が悪いときは、医師の診断を受けること。
P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P404	密閉容器に保管すること。
P410	日光から遮断すること。

**3.組成、成分情報**

単一/混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名 : (4-エトキシフェニル) {3-[ (4-フルオロ-3-フェノキシ) フェニル] プロピル} (ジメチル) シラン混合物 (シラフルオフェン)

有害成分	CAS No.	含有量
ミネラルスピリット	64742-47-8	92.5%
シラフルオフェン	105024-66-6	約 0.16% (有効成分として 0.15%)
シプロコナゾール	94361-06-5	0.1%
その他(安定剤、固着剤)	N/A	残

**4. 応急処置**

以下のいかなる場合においても、応急処置を速やかに行い、必ず医師の診断を受けること。

吸入した場合	噴霧器を使用した際に、ミスト、スプレー等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にする。異常を感じた場合には医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を速やかに脱ぐ。汚染された衣服を再使用する場合には、洗濯等で汚れを綺麗に落としてから使用する。皮膚に付着した場合は、直ぐに洗い流す。外観に変化がある場合、又は痛みが続く場合には、速やかに医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	直ちに清浄な水で洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、外すことが可能であれば、取り除いて洗浄する。異物感が眼に残るようであれば、速やかに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合には、口の中をよくすすぎ、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させてはいけない。
応急処置をする者の保護	救助を行う者が有害物質等に触れないように保護具を着用すること。汚染された場合には、すぐに衣類や保護具を取り除く。

## 5. 火災時の処理

消火剤	炭酸ガス、耐アルコール性の泡、粉末消火剤
火災時の特定の危険有害性	燃焼すると一酸化炭素を発生させる可能性有。
特定の消火方法	消防隊に火災の場所と危険有害性を伝える。 避難誘導を速やかに行う。 適切な遮断のある風上の安全な距離から消火する。 可能な場合、容器や可燃性の製品等を周囲から素早く取り除く。 容器や周囲の設備等に散水をして、出来る限り冷却する。 安全な場合には、火災の危険が排除されるまで、電気機器のスイッチを切る。
消火を行う者の保護	必ず保護具を着用し、製品の吸入や煙との接触を避けるため、風上から作業する。

## 6. 漏出時の処置

人体に対する 注意事項	ミスト、スプレーの吸入及び、漏出物の皮膚や眼との接触を避ける。 作業の際には、必ず保護具を着用する。 関係者以外は立ち入り禁止とする。
環境に対する 注意処置	河川などに排出され、環境に影響を起こさないように注意する。 水で洗い流す必要がある場合には、乾燥砂、土、その他の不燃性のものを用意し、排水をそれに吸収させる。吸収させたものは法規に基づいて処理を行う。
二次災害の 防止策	着火源となるものは、速やかに取り除く。 内容物が飛散した場合には、人が近づかないように指示をし、飛散したものを集め、法規に基づいた処理を行う。 集めた飛散物は、処理するまで密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 漏出物の上をむやみに歩かないように、ロープ等で立入りできないように配慮する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策	労働安全衛生法、消防法などの関連法規に準拠して作業する。 本剤に記載されている注意事項、使用方法等もよく読み、それに従った取り扱いを行う。 呼吸器官の弱い人、アレルギー症状やかぶれの起きやすい人、病人、妊婦、乳幼児等がいる場合には絶対に使用しない。 容器は、その都度密栓する。一度開封したものは、出来るだけ早く使い切る。 製品を取り扱う時に使用するすべての装置は、接地しておく必要がある。また装置はすべて防爆型を使用する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体を洗浄するための設備を設置する。
局所排気・全体排気	密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業する。
安全取扱注意事項	子供の手の届かない場所に保管する。 火気、直射日光及び湿気を避け、飲食物、食器類、飼料等とは区別し保管する。 使用後の容器は、各自治体の廃棄方法に従い破棄する。 容器を転倒、落下させる、引きずるまたは容器に衝撃を加える等の粗暴な取り扱いをしない。 飲み込みを避ける。

	取扱い後はよく手を洗う。
	皮膚との接触を避ける。
	熱源、火気から遠ざける。

適切な保管条件	直射日光を避け、火気、放電、高温物から遠ざけて保管する。
	火気に注意する。
	通気の良い、日陰の場所に保管する。
安全な容器包装材料	本容器以外の容器は使用できません。保管の際は、必ず密封する。

## 8.曝露防止及び人に対する保護処置

<ミネラルスピリット>

許容濃度

日本産業衛生学会 : 165ppm (RCP-TWA、2009、エクソンモービル)

保護具

呼吸器の保護具 : 農業用のマスク、有機溶剤用のマスク等  
 手の保護具 : 保護手袋  
 眼の保護具 : ゴーグル、保護メガネ  
 身体の保護具 : 保護服、保護帽、安全靴等

衛生対策

: 取扱いの際に、必ず保護具を着用する。

設備対策

: 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。取扱場所の近くに、緊急用の洗眼設備及びシャワーを必ず設ける。

## 9.物理及び化学的性質

形状	液体	
色	クリア、オレンジ	
臭い	溶剤臭	
沸点	204℃	
引火点	83℃	
爆発限界	下限 1%	上限 9%
比重	0.794 (25/4℃)	
動粘度	約 2.16mm <sup>2</sup> /sec(40℃)	
溶解度	水に不溶	

## 10.安定性及び反応性

1	安定性	通常の冷暗所保管条件下で安定。
2	避けるべき条件	加熱、強酸化剤、アルカリ性物質との混合や接触。
3	その他	蒸気が引火して爆発のおそれ

## 11.有害性情報

吸引性呼吸器有害性	飲み込む、又は吐き出す最中に少量でも気管に入ると、化学性肺炎や、肺水腫を引き起こす可能性がある。
その他	急性毒性は低い。皮膚に付着させ、そのまま乾燥させてしまうと、不快感、皮膚炎に結びつく恐れがある。また、眼に入った場合、短時間だが、軽度の不快感を及ぼす恐れがあるが、いずれも情報不足のため GHS 分類できていない。

## 12.環境影響情報

水生環境有害性（急性）	シラフルオフエンのデータから魚毒性値を算出した結果、区分2となった。
水生環境有害性（長期間）	シラフルオフエンのデータから魚毒性値を算出した結果、区分2となった。急速分解性を示すデータがなく、生物蓄積性がある。

生態毒性 (シラフル オフエン)	魚毒性	ニジマス LC <sub>50</sub> (96H) 9.4mg/L 以上
	甲殻類	オオミジンコ EC <sub>50</sub> (48H) 0.0012mg/L
	藻類	EC <sub>50</sub> (48H) 0.0177mg/L 以上
	その他	急速分解性無し。BCF855

生態毒性 (シプロコ ナゾール)	魚毒性	Oncorhynchus mykiss LC <sub>50</sub> (96H) 19mg/L 以上
	甲殻類	Daphnia magna EC <sub>50</sub> (48H) 22mg/L
	藻類	Scenedesmus subspicatus EC <sub>50</sub> (48H) 0.077mg/L 以上

## 13.廃棄上の注意

焼却処理の際は、珪藻土等に付着させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。適切な設備での焼却をすること。洗浄した排水等も、地面や排水溝へそのまま流さず、必ず回収をして適切な処置をする。また、必要に応じて、有機溶剤用マスク等の保護具を着用すること。焼却の際には廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。使用後の容器は、各地方自治体の廃棄方法に従い廃棄する。

## 14.輸送上の注意

国連番号	1306
国連分類	3
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当
陸上輸送	道路法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。

## 15.適用法令

消防法	第四類第三石油類 非水溶性液体			
労働安全衛生法	名称などを表示し、又は通知すべき危険物及び有害物	表示・通知対象の有無	名称	政令番号 (別表第9)
		表示対象・通知対象	ミネラルスピリット	551
下水道法	鉱油類排出規制(5mg/L 許容濃度)			
水質汚濁防止法	油分排出規制(5mg/L 許容濃度)			

## 16.その他の情報

危険・有害性の評価は現時点で入手出来る資料、データに基づいて作成しているが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではない。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特別な手扱いをする場合には用途・用法および状況に適した安全対策を実施の上、手扱いには十分に注意すること。すべての化学製品には未知の危険性・有害性があり得るため、手扱いには細心の注意が必要である。使用者の責任において、安全な使用条件を設定すること。

### 引用文献

- ・ GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック改訂第2版 社団法人日本塗料工業会 平成24年7月発行
- ・ GHS 分類結果データベース 独立法人製品評価技術基盤機構、アクセス日：2016/5/9
- ・ Globally Harmonized System of Classification And Labelling Of Chemicals(GHS), Fifth revised edition. United Nations New York and Geneva,2013.
- ・ JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)、日本規格協会 発行
- ・ 入手した他社原材料 SDS/MSDS